

令和6年度 授業改善推進プラン（教科 社会科）

作成者 田中 真則

令和5年度の授業改善推進プランの成果と課題

1 年	2 年	3 年
【成果】レポートの作成やグループ学習などで意欲的に取り組む生徒が増えてきた。 【課題】「わかる授業」を展開し、生徒が主体的に学習に取り組む態度を高める。基礎的な知識や理解の向上を図るため、授業時間内での振り返りを充実させる。既習事項の復習の機会を増やす。	【成果】主体的に学習に取り組む生徒が増え、定期考査や復習確認テストなどの結果が向上した。 【課題】課題に対する探究的な学習を充実させ、知識・理解の確実な定着とともに、思考力や表現力の向上を目指す。既習事項の復習の機会を増やす。	【成果】授業で学んだことを日頃の生活に結びつけようとする姿勢が見られ、環境問題や人権問題、政治や経済の動向等に対する興味や関心が高まってきた。 【課題】社会的事象の因果関係や理由などについて、文章等でまとめ発表する活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。

学年毎の 課題分析	学 年	生徒の実態	学力調査、授業アンケート等を受けての具体的な授業改善策	
			第 1 回	第 2 回
	1 年	- 授業中の発言が多く、活発に意見を出し、学び合う姿勢がみられる。 - ICT 機器を使った授業に高い関心を示し、操作も慣れている。 - 自ら授業用ノートを用意し、重要事項を書き留めるなど、学び方を工夫する生徒がいる。	- 基礎的な知識や理解の向上を図るため、授業時間内での振り返りを充実させる。既習事項の復習の機会を増やす。 - 資料の読み取りや問題解決の場面を設定し、思考力や表現力の向上を図る。	
	2 年	- どの生徒も真剣に授業の課題に取り組んでいる。 - ICT 機器を使った授業に高い関心を示し、操作も慣れている。 - 授業に対しては、「わかりやすく教えてほしい。」「詳しく教えてほしい。」「ICT機器をもっと活用してほしい。」という要望があった。	- タブレットPCや視聴覚教材を適宜活用し、学習意欲と理解を深める。 - 授業内容が難しいと感じる生徒に対しては、授業ごとに押さえないといけないポイントを明示して、確実に理解させる。より発展的な学習を要望する生徒に対しては、家庭学習用のプリントを早めに配布し、web教材に家庭で取り組ませる。	
	3 年	- どの生徒も真剣に授業の課題に取り組んでいる。 - 自分の意見を述べることに對して、全体的に消極的な面が見られる。 - 特に思考力や表現力を問う課題については達成率が低く、苦手としている生徒が多い。	- 知識の定着を図るために、内容のまとめりごとに確認テストを実施して学習習慣の定着を図る。 - 授業のふりかえりシートを工夫して、生徒の理解度をその都度確認しながら授業改善を図る。 - 資料の読み取りや問題解決の場面を設定し、思考力や表現力の向上を図る。	

令和6年度の授業改善推進プランの成果と課題

1 年	2 年	3 年